

石川県立ろう学校 平成31年度 自己評価計画書(中間報告)

重点目標	具体的取組	主担当	現状	評価の観点	実施状況の達成度判断基準	判定基準	分析及び今後の課題
1 書く力の向上	①自分の考えや思いを、適切な文章で表現する力を養う。	○教務課 小中高等部 寄宿舎	日本語を正しく書く力が求められている。	【努力指標】 日記や日々の授業などで自分の考えや意見等を書く場面を設定し、個に応じた指導を行う。	個に応じた目標を設定し、指導できた。 A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 教職員=98% A	児童生徒に、できる範囲で書く場面を意識して設定している。また、児童生徒の現状をしっかりと把握し、表現力など今後求められる力をふまえ、個々につけたい力を明確にし指導している。今後は、継続して指導し変容を注意深く確認していく。また、次の段階として書いたものを発表する場の設定が必要になる。
2 授業改善の取り組み	②幼児児童生徒が主体的に学ぶために、見てわかる・確実に伝わる内容となるように授業改善に取り組む。	○研修課 幼小中高等部	研修や研究授業は行っているが、課題を共有し各自の授業に活かすことが求められている。	【成果指標】 研修や研究授業を通して、授業改善を行った。	研修や研究授業のあと、自分の授業改善に活かすことができたと感じる教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 教職員=92% A	新任研や研修講座、オープン参観が一役買っている。また、研修や参観して終わりではなく、その後の意見交換が改善に結びついている。今後、授業実践に関する「自己評価シート」を用い、自分の指導や改善の具体策を考える必要がある。
				【満足度指標】 学校の授業について、幼児児童生徒は満足している。	授業に満足している幼児児童生徒が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 児童生徒=89% A 保護者=98% A	マイクの使用や視覚教材の配置など環境面の整備も意識していけるとよい。また、聴覚障害に配慮した話し方や個別への丁寧な対応が満足につながっている。テレビやタブレットなど視聴覚教材の使用が満足につながっている。今後、より個別に対応できるような場を検討したい。
3 防災教育の充実	③防災教育	○指導課 幼小中高等部 寄宿舎	「自分の命は自分で守る」という意識を高める必要がある。	【努力指標】 幼児児童生徒1人ひとりの防災に関する知識が深まり、防災への意識が高まった。	災害について関心がたかまった幼児児童生徒が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 教職員=77% B 幼児児童生徒=95% A	避難訓練やヘルメットの導入、避難場所調べなどを通して幼児児童生徒に災害時の行動について話す場面や機会が増えている。今後の課題として、自分がどこにいても避難ができるように、いろいろな場面での避難についての学習が必要である。
	④地震などの災害が発生したときの過ごし方について学ぶ	○防災委員会 幼小中高等部 寄宿舎	長期避難を想定した教職員の組織的な動きが求められている。	【成果指標】 災害発生時の仮想体験を通して、教職員は組織的な動きが理解出来た。	仮想体験で、自分の役割を果たすことが出来たと感じた教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上	B以上を目標 CまたはDの場合は、改善策を検討する。 (※前期は、実施しない。)	前期評価なし
	⑤災害備品についての知識	○保体課 幼小中高等部 寄宿舎	学校にある災害備品を知り、避難所の拠点としての備品について考える必要がある。	【努力指標】 災害備蓄品及びその保管場所や活用方法を理解した。	災害備蓄品や活用方法についての理解が深まった教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 教職員=88% A	防災意識の向上に取り組み始めたことで、災害備蓄品への関心が高まっている。今後は、災害備蓄品の範囲について明確にし、一覧マップを作成することでより周知が進むものと考えられる。
4 効率的な働き方	⑥職場環境の改善	○総務	業務改善のために、各部各課の職場環境を整理整頓することが求められる。	【努力指標】 業務の効率化を図るために各自が整理整頓を行った。	職場環境を改善することができたと感じた教員が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	B以上を目標 教職員=75% B	机上の整理や日常業務の改善に各自が取り組んだが、個人レベルでは、取り組み方に差異があり、また職場全体の環境整備に至っていないのが現状である。今後、学校全体でチームを作るなど、より一層の職場環境の改善に努める。